

圏外

認定看護師等の不足
医師の不足

ハイリスク分娩に十分
対応できる体制がない
障がい者に対する産科
診療体制が未整備

圏外

機能分担・連携体制
の未整備

医師の不足

医師の不足

循環器・呼吸器
専門医の確保困難

医師の不足

圏外

二次医療圏福祉圏

実施前

医育大学

駐在

北見国赤

機能分化・連携

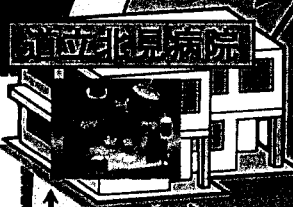
機能再編

北見国赤

- 二次・三次医療圏の中核的医療機関である北見赤十字病院や圏内の医療機関で十分な医師確保がされておらず、地域医療の崩壊が危惧されている。
- 循環器や心臓血管外科等の高度医療を担う医療機関に限られており、また、循環器・呼吸器医療の専門医の確保が極めて厳しい。
- 医療機関の機能分担と連携体制が整っていない。

- 循環器・呼吸器医療の拠点病院を整備し、医師増員等による機能充実を図るとともに、他の医療機関との機能分化・連携を進める。

- 医育大学と連携して寄附講座を活用するなどして、地域医療を担う後期研修医を養成・確保し、圏内の公的医療機関に派遣するとともに、地域の勤務医を対象に地域に必要な診療科に関する研修を実施し、その間の代替医師を派遣する。
- 認定看護師等を養成し、医療機関に勤務する看護師等を対象に研修を実施するとともに、必要に応じて医療機関に派遣する。
- 総合周産期母子医療センターを整備し、圏域外への母体搬送の解消を図る。
- 連携医療機関との医療情報共有化や遠隔画像診断システム整備を行う。



医療機関

医療機関

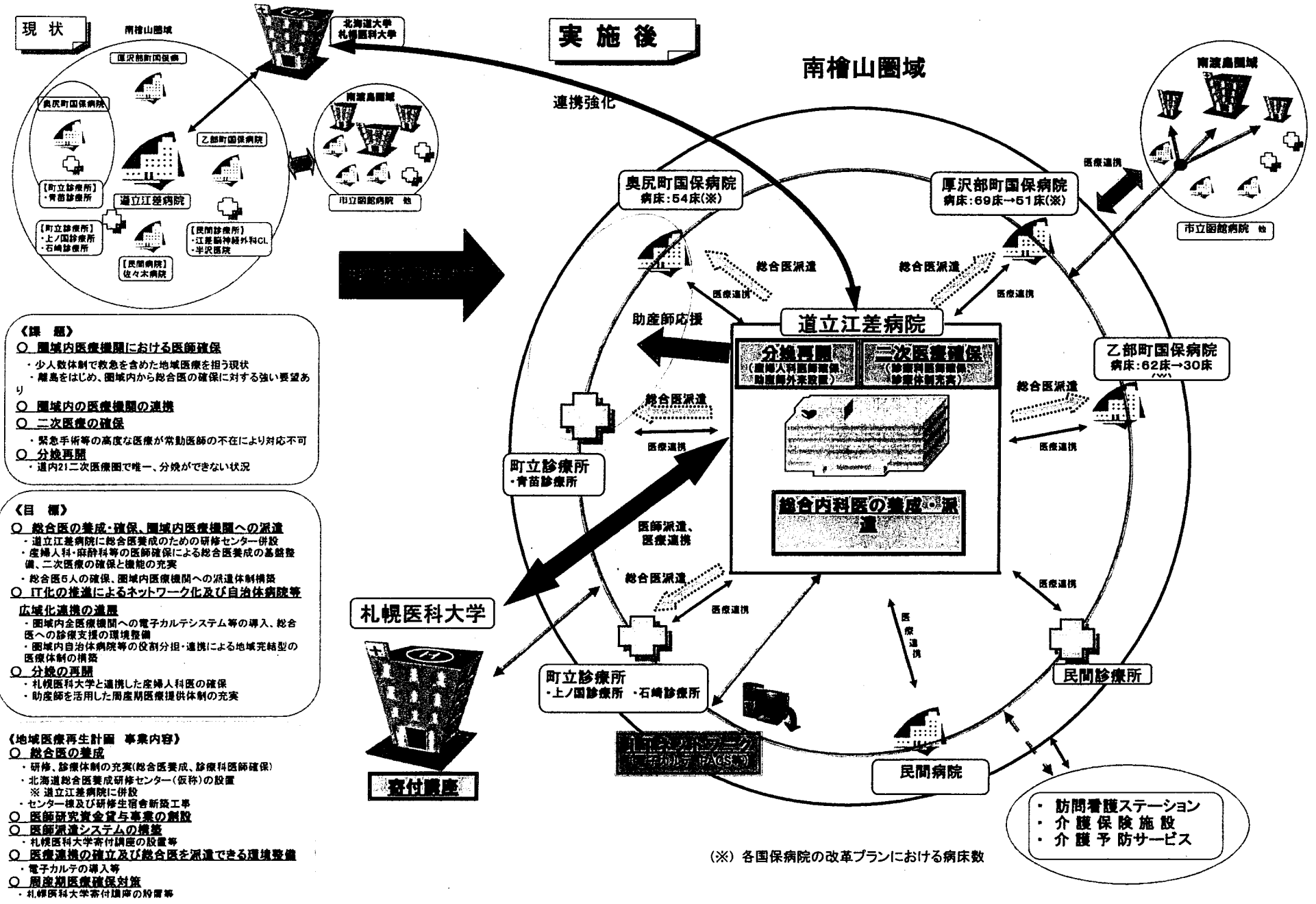
北見
三次保健医療福祉圏

実施後

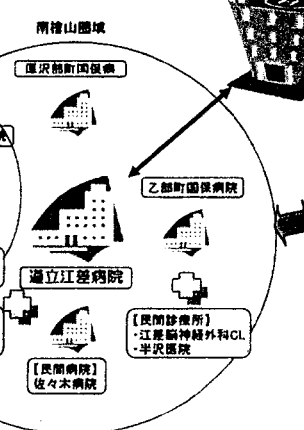
オホーツク
三次保健医療福祉圏

すべての事業に連携する。

南檜山地域医療再生計画(イメージ)



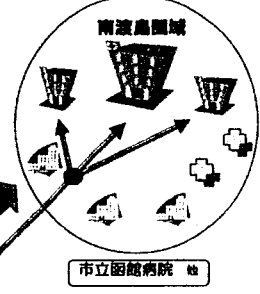
現状



実施後

連携強化

南檜山圏域



奥尻町国保病院
病床:54床(※)

厚沢部町国保病院
病床:69床→51床(※)

乙部町国保病院
病床:62床→30床(※)

道立江差病院

分娩再開
(産婦人科医師確保
助産師充実)

三次医療確保
(診療科目確保
診療体制充実)

総合内科医の養成・派遣

町立診療所
・青苗診療所

町立診療所
・上ノ国診療所
・石崎診療所

民間診療所

民間病院

札幌医科大学



寄付講座

課題

- 圏域内医療機関における医師確保
 - ・少人数体制で救急を含めた地域医療を担う現状
 - ・離島をはじめ、圏域内から総合医の確保に対する強い要望あり
- 圏域内の医療機関の連携
- 二次医療の確保
 - ・緊急手術等の高度な医療が常勤医師の不在により対応不可
- 分娩再開
 - ・道内21二次医療圏で唯一、分娩ができない状況

目標

- 総合医の養成・確保、圏域内医療機関への派遣
 - ・道立江差病院に総合医養成のための研修センター併設
 - ・産婦人科・麻酔科等の医師確保による総合医養成の基盤整備、二次医療の確保と機能の充実
 - ・総合医5人の確保、圏域内医療機関への派遣体制構築
- IT化の推進によるネットワーク化及び自治体病院等
広域化連携の進展
 - ・圏域内全医療機関への電子カルテシステム等の導入、総合医への診療支援の環境整備
 - ・圏域内自治体病院等の役割分担・連携による地域完結型の医療体制の構築
- 分娩の再開
 - ・札幌医科大学と連携した産婦人科医の確保
 - ・助産師を活用した周産期医療提供体制の充実

地域医療再生計画 事業内容

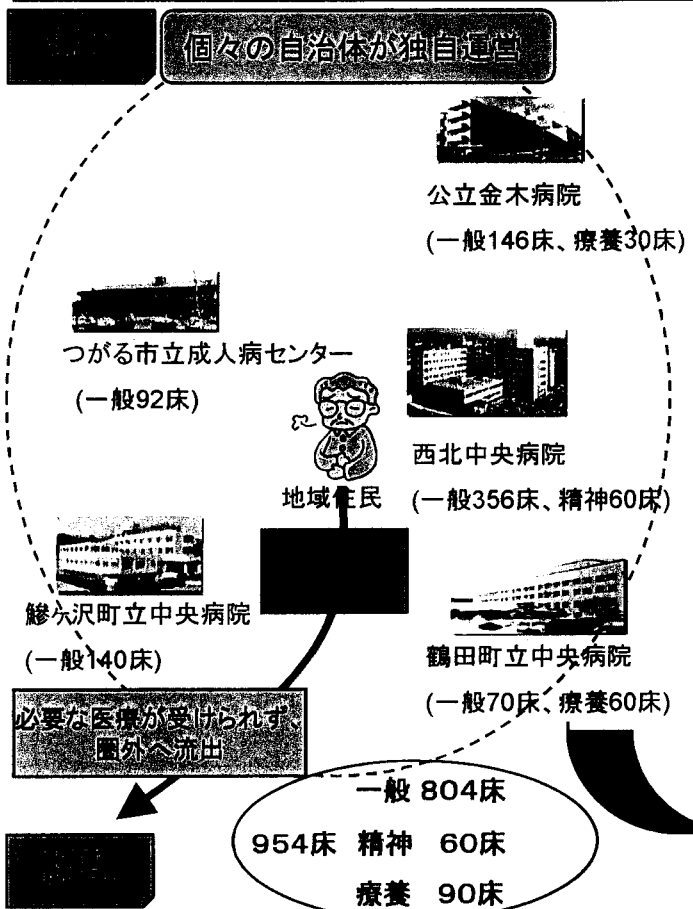
- 総合医の養成
 - ・研修、診療体制の充実(総合医養成、診療科医師確保)
 - ・北海道総合医養成研修センター(仮称)の設置
 - ※ 道立江差病院に併設
 - ・センター棟及び研修生宿舎新築工事
- 医師研究資金貸与事業の創設
- 医師派遣システムの構築
 - ・札幌医科大学寄付講座の設置等
- 医療連携の確立及び総合医を派遣できる環境整備
 - ・電子カルテの導入等
- 周産期医療確保対策
 - ・札幌医科大学寄付講座の特需等

(※) 各国保病院の改革プランにおける病床数

青森県地域医療再生計画（西北五地域保健医療圏）～地域で心豊かに安心して暮らせる社会づくりのために～

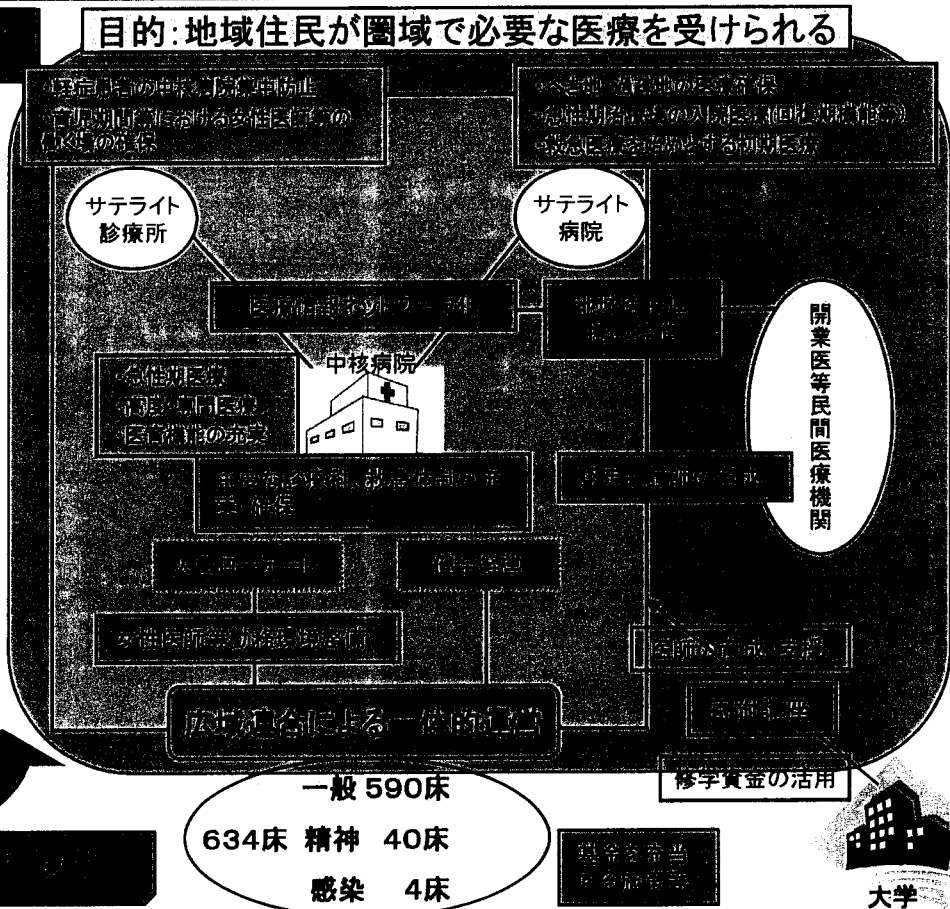
（自治体病院の医療機能の再編・ネットワーク化を軸とした持続可能な医療提供体制の構築）

個々の自治体が独自運営



- ① 医師不足等により専門的医療機能が低く、医療を提供できない分野が多い。
- ② 医療機能の役割分担と連携の推進が必要。
- ③ 病床過剰地域の一方、自治体病院の病床利用率が低い。
- ④ 圏域内の5つの自治体病院が赤字経営で維持困難。
- ⑤ 慢性的な医師不足。特に自治体病院の勤務医が少ない。
- ⑥ 看護師が不足。高度医療を支える看護師が少ない。

目的：地域住民が圏域で必要な医療を受けられる

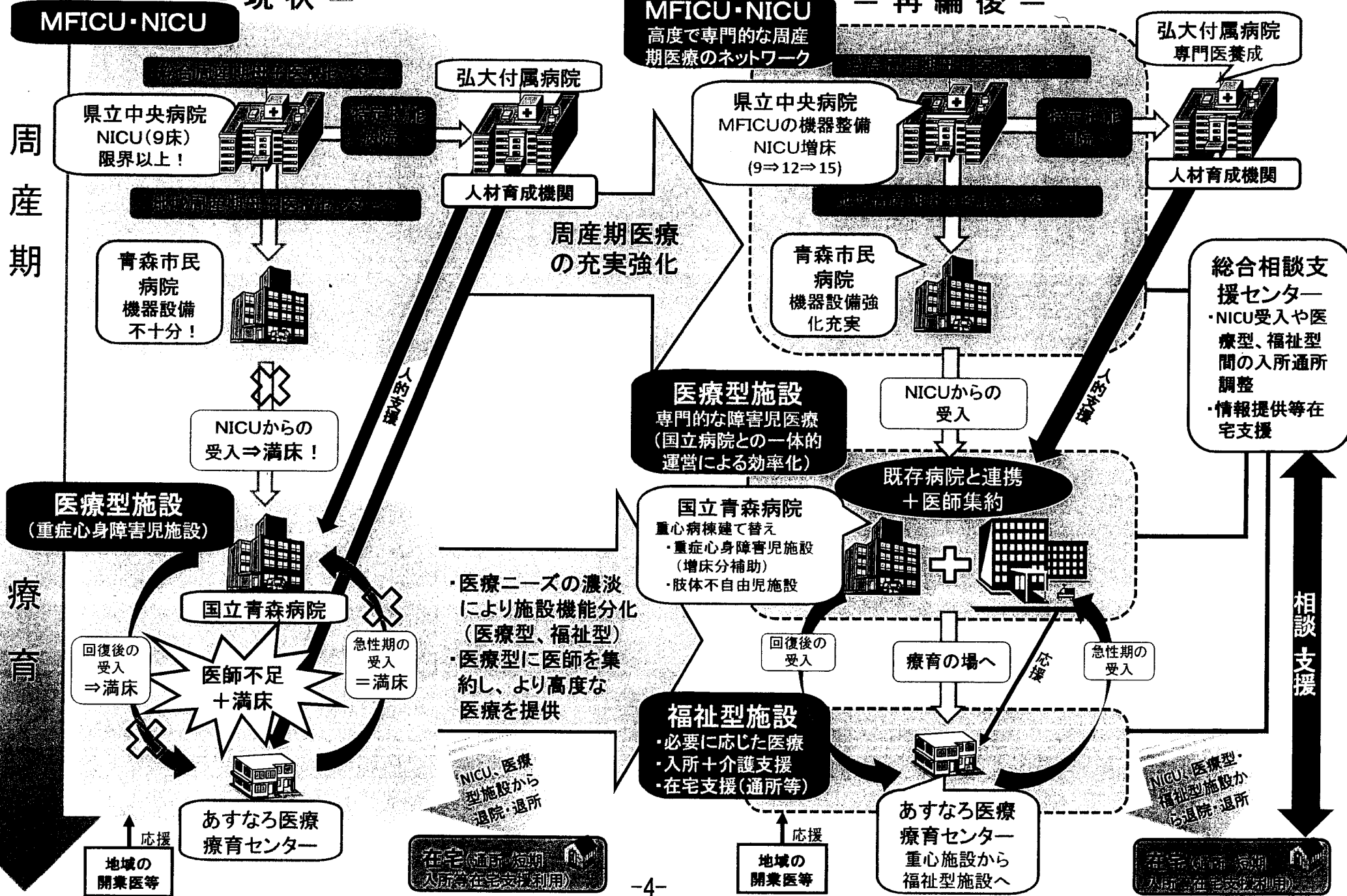


- ① 新たに整備する中核医療機能（中核病院）における主要な診療科、救急体制の充実・確保等
- ② 初期医療等を担う連携医療機関（サテライト病院・診療所）との医療情報ネットワーク化等
- ③ 自治体病院病床の適正化を図る。（954床から634床へ）
- ④ 広域的一体的運営により全体として経営の安定化を図る。
- ⑤-1 中核病院を中心とした医師の人事ローテーションシステムを構築し、サテライト医療機関の医師を確保。
- ⑤-2 弘大医学生への修学資金の活用等による県内定着及び圏域への誘導
- ⑤-3 研修医等の教育・人材育成を行う寄附講座を大学に設置。
- ⑤-4 短時間正規雇用導入等による女性医師、女性看護師の勤務環境整備。
- ⑥ 医師を支える質の高い看護師の育成支援。

青森県地域医療再生計画 (青森地域保健医療圏：周産期医療から療育まで)

＝ 現状 ＝

＝ 再編後 ＝



岩手県地域医療再生計画【釜石保健医療圏】

(地域がん診療連携拠点病院の整備、在宅医療の推進等に重点化)

